

韓国

マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が10月24日に公表した2014年第3四半期の成長率（速報値）は、季節調整値で前期比0.9%（年率換算3.6%）で、前期の同0.5%から上昇した。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同1.3%で前期の同▲0.2%からプラスに転じた。固定資本形成は同1.1%で、やはり前期の同▲0.2%からプラスに転じた。その内訳では、建設投資は同2.9%で前期の同0.4%から上昇した。一方、設備投資は同▲0.8%で前期の同1.1%からマイナスに転じた。外需である財・サービスの輸出は同▲2.6%で前期の同1.7%から大きくマイナスに転じた。

2014年第3四半期の鉱工業生産指数の伸び率は季節調整値で前期比▲0.2%となり、二期連続のマイナスとなった。月次では季節調整値で、8月は前月比▲3.9%、9月は同0.1%となっている。

2014年第2四半期の失業率は季節調整値で3.5%となり、前期の同3.7%を下回った。月次では同じく季節調整値で、2014年8月は3.5%、9月も3.5%となっている。

2014年第2四半期の貿易収支（IMF方式）は219億ドルの黒字であった。月次では、8月は74億ドル、9月は77億ドルのそれぞれ黒字である。

対ドル為替レートは8月に1ドル=1,025ウォン、9月に同1,036ウォン、10月に同1,061ウォンと推移している。

消費者物価上昇率は8月に前年同月比1.4%、9月に同1.1%、10月に同1.2%と推移している。生産者物価上昇率は8月に前年同月比▲0.2%、9月に同▲0.4%と推移している。

今後の展望

韓国銀行は10月25日に経済見通しを発表し、2014年の成長率を3.5%とし7月時点の3.8%から下方修正した。また2015年の成長率は3.9%で、やはり7月時点の4.0%から下

方修正している。

2014年の予測成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が2.0%で前年の2.0%から横ばいと見込んでいる。また、投資では設備投資が5.2%で、前年の▲1.5%からプラスに転ずるとしている。建設投資は1.9%で、前年の6.7%から大きく低下するとしている。外需である輸出は4.0%で、前回予測の6.1%からかなり下方修正されている。

また、2015年の予測成長率を需要項目別に見ると民間消費は3.5%と堅調に伸びるとしている。また、投資では設備投資が5.9%で、2014年を上回り、建設投資は6.8%でやはり2014年を上回るとしている。外需である輸出は5.5%で、やはり前回予測の7.5%から下方修正されている。

失業率は2014年には3.5%で2013年の3.1%から上昇するが、2015年には3.3%に低下するとしている。雇用者数の増加は2013年39万人から、2014年は48万人、2015年は45万人と拡大すると見込んでいる。

一方、消費者物価上昇率は前年の1.3%から、2014年には1.4%となり、2015年には上昇して2.4%となると予測している。

経常収支は2013年の799億ドルの黒字から、2014年には840億ドルに拡大し、2015年には700億ドルに縮小するとしている。

セウォル号関連法案で与野党合意

10月31日、政局混迷の原因となっていた4月の旅客船セウォル号沈没事故の真相究明に向けた特別法などについて、与野党間の合意が成立した。

遺族の求める「真相調査委員会」への捜査・起訴権の付与については見送られることとなったが、証人の偽証などについては刑事罰が科せられる内容となった。また、事故への対応を巡り、批判を浴びた海洋警察庁については新たに設けられる「国民安全処」の下で、改編されることとなった。

（ERINA調査研究部主任研究員 中島朋義）

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	13年10-12月	14年1-3月	4-6月	7-9月	2014年8月	9月	10月
実質国内総生産 (%)	0.3	6.3	3.7	2.3	3.0	0.9	0.9	0.5	0.9	-	-	-
最終消費支出 (%)	1.2	4.1	2.3	2.2	2.2	0.6	0.1	▲0.2	1.3	-	-	-
固定資本形成 (%)	▲1.0	5.8	▲1.0	▲0.5	4.2	▲0.7	3.2	▲0.2	1.4	-	-	-
鉱工業生産指数 (%)	▲0.1	16.3	6.0	1.3	0.4	1.9	0.3	▲0.9	▲0.2	▲3.9	0.1	-
失業率 (%)	3.6	3.7	3.4	3.2	3.1	3.0	3.6	3.7	3.5	3.5	3.5	-
貿易収支 (百万USドル)	47,814	47,915	29,090	49,406	80,569	24,618	17,745	26,428	21,890	7,367	7,728	-
輸出 (百万USドル)	363,901	463,770	587,100	603,509	617,128	162,458	152,689	159,385	153,713	48,920	50,981	-
輸入 (百万USドル)	316,087	415,854	558,010	554,103	536,559	137,840	134,943	132,957	131,823	41,553	43,253	-
為替レート (ウォン/USドル)	1,276	1,156	1,108	1,127	1,095	1,062	1,069	1,029	1,027	1,025	1,036	1,061
生産者物価 (%)	▲0.2	3.8	6.7	0.7	▲1.6	▲0.9	▲0.6	▲0.1	▲0.2	▲0.2	▲0.4	-
消費者物価 (%)	2.8	3.0	4.0	2.2	1.3	1.1	1.1	1.6	1.4	1.4	1.1	1.2
株価指数 (1980.14 : 100)	1,683	2,051	1,826	1,997	2,011	2,011	1,986	2,002	2,020	2,069	2,020	1,964

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2010年基準

貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はf o b価格

(出所) 韓国銀行、統計庁他